

**2015年度 日本文化人類学会
第1回理事会 議事録(案)**

日時：2015年4月18日(日) 14時～18時45分

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

<出席者> 関根、赤堀、池田、石田、上杉、太田、岡田、亀井、岸上、栗田、桑山、慶田、湖中、
田中、名和、真島、松田、松村、山本

<委任状提出>春日、窪田、瀬川、和崎

[承認事項]

1. 2014年度第6回理事会議事録
2. 新・再入会員(9名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上、事後承認。

[報告事項]

1. 会長報告
 - ・第50回研究大会開催校は南山大学、第51回以降の開催校は打診中であることを報告。
 - ・資料に基づき、IUAESとWCAAの連携あるいは統合に関する協議の状況と本学会との関係について説明。
WCAA執行部からThe global survey of Anthropological Practicesへの協力依頼があったため、「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 文化人類学分野」を送付したことを報告。
その他、WCAAで議論されている人類学の中等教育や社会向け発信に関わる情報があれば、会長宛に連絡するよう依頼。
 - ・Déjà Luへの論文掲載に向け、両学会誌編集主任を中心に検討を行うことを確認。
 - ・科研費の申請状況に関し、地域研究枠での申請数と比較して、文化人類学枠での申請数が少ないので、文化人類学枠での申請を増やす必要があることを確認。
 - ・2月20日に神奈川大学常民文化研究所において「『民族学振興会資料』の利用に関する覚書」への調印を行ったこと、その際、神奈川大学側の案内で資料の配架状況を確認したことを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・第5回育志賞授賞式へ会長代理として出席したことを報告。
 - ・第12回(平成27年度)日本学術振興会賞の学会推薦を行ったことを報告。
 - ・神奈川大学日本常民文化研究所(以下常民研)より、本学会と常民研との間で取り交わした「『民族学振興会資料』の利用に関する覚書」に基づき、民族学振興会の資料等を掲載した資料集『国際常民文化研究叢書(第11巻)―「民族研究講座」講義録』(2015年3月1日刊行)に関する刊行通知が届いたことを報告。
 - ・第49回研究大会1日目(5月30日)の総務会・理事会・評議員会の開催予定について確認。
3. 会計理事報告
 - ・平成27年度科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)「研究成果公开发表(B)」および「国際情報発信強化(B)」の交付内定通知が届いたことを報告。
 - ・第48回研究大会及び学会50周年記念国際大会の会計について、帳簿の確認を行ったことを報告。
 - ・課題研究懇談会において会員への謝金支払いがあり、その理由書が提出されたこと、地区研究懇談会について個別に用途に関する問い合わせを行ったことを報告。
4. 総務理事報告
 - ・今年度の公開シンポを11月8日(於金沢)に開催することを報告。
5. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき9件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
 - ・JASCA-NETにおいてチェーンメール誘発の可能性のある不適切な表現を使用した投稿があったため、投稿者に注意喚起を行ったことを報告。
6. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：79巻4号が刊行されたことを報告。森田真也委員を特集補佐とすること

が提案され、承認された。

- ・JRCA編集委員会：Vol. 15 が刊行されたことを報告。次号 Vol. 16 については、「国際情報発信強化」特別委員会の山本理事・栗田理事（本学会員による古典的論文の英語訳の選定を担当）から、「ルース・ベネディクト『菊と刀』の与えるもの」（『民族学研究』14 巻4号, 1950年）の翻訳を推薦するとの報告が編集主任にあり、編集委員会で検討した結果、次号に翻訳掲載することを決定したこと、Vol. 16 から始まる古典的論文の英語訳の掲載は、国際情報発信強化の取り組みの一環であるが、昨年度は学会賞受賞者がなく、vol. 16 には受賞記念論文の英語訳が掲載されないため、本計画は特に大きな意味を持つこと、ただし上記特集は分量が多いため、それに応じた予算措置が必要であることを報告。翻訳掲載にあたっては、上記特集を現在取り上げることの意義について、何らかの解説をつける必要があるのではないかとの意見が出された。
- ・法人化検討委員会：本学会を法人化した場合に必要となる変更点について資料に基づき報告。次回理事会において、総会で配布する会員向けの説明資料を確認することとした。
- ・課題研究懇談会担当委員会：各課題研究懇談会より 2014 年度活動報告・会計報告が提出されたことを報告。課題研究懇談会担当委員会で内容を確認の上、次回理事会で詳細について報告することとした。
- ・学会歴史委員会：本学会と神奈川大学日本常民文化研究所が「『民族学振興会資料』の利用に関する覚書」に調印し、正式に文書を取り交わしたことを報告。
- ・研究大会運営検討委員会・研究発表査読委員会：第 49 回研究大会の準備状況について報告。研究大会で開催されるラウンドテーブルの開催経費について意見交換の結果、研究大会の決算で赤字が出た場合には、研究大会補助金の増額によって対応することがすでに理事会で承認されているため、ラウンドテーブルの開催経費を研究大会の会計に含めることを確認。

【審議事項】

1. 第 48 回研究大会収支報告書について
 - ・赤堀理事より、第 48 回研究大会収支報告書が大会準備委員長より提出されたことが報告され、学会からの補助金の返金及び余剰金の受入れが承認された。
2. 学会 50 周年記念国際研究大会収支計算書について
 - ・赤堀理事より、学会 50 周年記念国際研究大会収支報告について説明があり、収支報告書に計上されている収支差額の返金が承認された。
3. 2014 年度事業報告書・2015 年度事業計画書（案）について
 - ・松村理事より、資料に基づき 2014 年度事業報告書・2015 年度事業計画書（案）について説明があり、次回理事会までに変更等があれば庶務理事に連絡することとした。
4. 2014 年度決算・2015 年度予算（案）について
 - ・赤堀理事より、2015 年度決算から決算書・予算書の表記方法を変更することが提案され、承認された。
 - ・研究大会補助金を研究大会の当座の運転資金とみなし、補助金の返金については、2016 年度予算より収入に計上することが提案され、承認された。
 - ・赤堀理事より、資料に基づき 2014 年度決算・2015 年度予算（案）について説明があり、次回理事会までに変更等があれば会計理事または事務局に連絡することとした。
 - ・過去 10 年間の収支決算を確認した結果、学会の財政状況が非常に厳しいものであることが判明したため、学会の事業の拡大に会費収入が追いついていない現状を認識し、一層の経費削減、事業の整理、会費値上げ等の改善策を早急に検討する必要があることを確認した。
5. 国際化・グローバル化対応委員会の設置を受けて
 - ・関根会長より、「国際情報発信強化」特別委員会と国際化／グローバル化対応委員会のそれぞれの役割分担について提案があり、意見交換の結果、引き続き総務会で検討を行うこととした。
6. 学会誌の表紙デザインの変更と新規ジャンルの提案について
 - ・田中理事より、表紙デザインについて学会誌編集委員会での検討内容について説明があり、デザイナーに費用も含めヒアリングを実施予定であることが報告され、意見交換の結果、JRCA も併せてデザイン変更した場合とそうでない場合の両方のケースについてヒアリングを実施することとした。ヒアリングの結果については、筋内ワーキンググループリーダーに次回理事会での報告を依頼することとした。

- ・太田理事より、学会誌編集委員会のワーキンググループにおいて検討を行った『文化人類学』の新規ジャンル案について説明があり、意見交換の結果、次回理事会において資料に基づき引き続き検討を行うこととした。
- 7. 第6回育志賞推薦依頼について
 - ・松村理事より、「第6回(平成27年度)日本学術振興会育志賞」候補者の学会推薦依頼があったことが報告された。審議の結果、過年度と同様、JASCA-INFOを通じて学会推薦候補者の募集を実施すること、配信文案については総務会に一任することが承認された。なお、学会推薦候補選出工程についても過年度と同様の手順で行うことを承認した。
- 8. 東日本大震災による被災会員の会費減免措置の延長について
 - ・松村理事より、「東日本大震災の被災会員に対する2011年度会費徴収特例措置」について説明の上、2015年度の特例措置延長について提案があり、承認された。
- 9. 第10回学会賞の授賞理由書について
 - ・学会賞選考委員会より第10回学会賞の授賞理由書案が提示され、意見交換の結果、文言及び分量調整の上、次回理事会で再度審議することとした。
- 10. 共同利用・共同研究拠点の継続申請についての要請書の送付依頼について
 - ・松村理事より、東京大学東洋文化研究所附属東洋学情報センターより、共同利用・共同研究拠点の継続申請についての要請書の送付依頼があったことが報告され、審議の結果、要請書を送付することとした。
- 11. 会員連絡用メーリングリストの運用内規の改正について
 - ・栗田理事より、会員連絡用メーリングリストの運用内規の改正案について説明があり、審議の結果、承認された。併せて学会HPのJASCA-INFOに関する記載部分とJASCA-INFO配信文署名の変更も承認された。今回の改正部分は以下の下線部の通り。

改正前	改正後
<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項は以下の事項の送付に限定する 1. 学会が主催、後援、協賛もしくはこれに準ずる形での協力を行う催しの案内（配信については事後に理事会に報告する） 2. 理事会の承認を得た連絡事項 3. その他、会長決裁により緊急に会員に伝達する必要がある連絡事項（配信については事後に理事会の承認を得る） 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項は以下の事項の送付に限定する 1. 学会が主催、後援、協賛もしくはこれに準ずる形での協力を行う催しの案内（配信については事後に理事会に報告する） <u>2. 学会が加盟するWCAAやIUAESを通じて提供される海外の催しの案内等</u> <u>3. 理事会の承認を得た連絡事項</u> 4. その他、会長決裁により緊急に会員に伝達する必要がある連絡事項（配信については事後に理事会の承認を得る）

12. その他

- ・松田理事より、学会賞検討委員会において学会賞の隔年授与、各賞の対象や意義について検討を行ったことが報告され、意見交換の結果、学会賞の目的も含め、引き続き委員会で検討を行うこととした。
- ・桑山理事より、JRCA Vol. 16の特集論文公募期間の延長について提案があり、承認された。公募期間延長については、JASCA-INFOで配信することとした。
- ・松村理事より、名誉会員候補者について期限までに推薦がなかったことが報告され、「日本文化人類学会名誉会員に関する内規」の第2条2項による理事会からの候補者推薦は行わないことが承認された。

以上